

大阪市長 横山 英幸 様

大阪市教育委員会 教育長 多田 勝哉 様

2024年2月22日

大阪市内の児童・生徒を 2025 年大阪万博へ引率・見学する学校行事を

全学校に強要しないように求める要請書

〔要請趣旨〕

私たちは「平和と民主主義をともにつくる会・大阪」と「夢洲カジノを止める大阪府民の会・城東」という二つの市民団体です。

大阪府と大阪市が、全学校の学校行事として先生方が引率して、児童・生徒を大阪万博に参加させる目的で予算化を進めていることに強く反対し、中止・撤回を要請します。

万博は、今大きな問題が多方面から指摘されています。開催まで一年あまりとなった現在も諸外国のパビリオンはほとんど建設も始まらず、2024 年4月からの「建設業の労働時間の上限規制」も発足する中、日本建設業連合会の宮本洋一会長（清水建設会長）が昨年時点で「もうデッドラインは過ぎている（2023.11.27）」と発言しています。

その中で、とりわけ今年元日に北陸能登地方を襲った大地震により、多くの方の命が奪われ、二か月近く経つのに、まだたくさんの方々が避難所などで苦難の生活を強いられています。これだけ大勢の方が希望も見えず、大変な暮らしを続けておられる中で、万博に巨額の税金や資材、建設作業員などの人材を使うことは間違っています。震災復興へ、費用や建設機材、人材などをもっと迅速に振り向けるべきと私たちは考えます。「夢洲カジノを止める大阪府民の会」が昨年12月より始めた署名『有害物質が埋まる万博へ子どもたちを招待しないでください！』（吉村知事と大阪府教育委員会教育長宛）は、今多くの方へ拡がり集められています。署名の趣旨に書いておりますように、夢洲万博へ学校行事としての引率・見学は、保護者・地域住民の視点から、危惧されることがたくさんあります。以下、要請理由3点を記します。

〔要請理由〕

(1) 夢洲は有害物質が埋まる、ごみの最終処分場としてつくられた人工島です。

有害物質を含む川底の汚泥や浚渫残土、産業廃棄物などが埋まっています。また、駐車場予定地の下には有害物質 PCB の袋が1万袋埋まり、その上を土で覆い、コンクリートで固めて、駐車場をつくる計画です。そんな危険な場所に、行事で参加する多くの子どもたちがバスから乗り降りすることは、保護者や地域住民として不安でたまりません。また夢洲は「液状化しない」と大阪市港湾局が見解を出しているが、カジノ会社による独自調査でIRカジノ用地の液状化リスクが高いと指摘され、大阪市の税金で液状化対策工事を昨年末より始めています。ところが、万博会場は対策もせず、建物を建てようとしているのも大きな矛盾です。

(2) 夢洲の災害対策は、本当に大丈夫なのでしょうか。

日本は、いつどこで大きな地震が起きてもおかしくない「地震列島」です。今年の能登大地震が起き、関西でも「南海トラフ地震」の脅威をさらに身近に感じている方も多くおられます。「30年以内に70%以上の確率で起きる」と言われている中で、もし大災害が起これば、「夢洲」は孤島となります。避難ルートは、夢咲トンネルと夢舞大橋の2つのみ。一日に15万人以上の入場者が見込まれる万博会場に、多くの児童を引率して行くことは、万一の災害に対し、児童たちの命にかかわる重大な事態を引き起こしかねません。

(3) 学校行事は、行き先や内容など、各学校の裁量で決めるべきだと思います。

遠足などの行事は、学校や学年の先生方が主体的に、児童や保護者の意向も踏まえつつ学校裁量で決定してください。子どもたちが「万博参加人数増の駒」のように扱われることにも危惧を感じております。大阪府民・市民の税金を使い、子どもたちを危険な夢洲に引率する行事を企画されないよう、ぜひお願いします。

〔要請内容〕

- ① 学校が引率する児童・生徒の万博参加の、全学校への強要を絶対に行わないこと。
- ② 全学校の参加のための経費の予算化を、撤回すること。
- ③ 事前学習として「万博」学習を24年度カリキュラムに組むことを各学校に強要しないこと。

「平和と民主主義をともにつくる会・大阪」 事務所：城東区関目 6 丁目 4-2-103
代表 山川よしやす TEL:06-6936-3073

「夢洲カジノを止める大阪府民の会・城東」 担当：()
本件の担当者：() 連絡先：()